

平成31年度当初予算への要望

【地域要望】

平成30年8月9日

豊田市議会自民クラブ議員団

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成31年度当初予算への要望

【挙母地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	崇化館	市道昭和町線/昭和町4丁目～喜多町2丁目交差点	駅前通り北地区再開発ビル建設に伴い、大型の運送車の往来が激しく道路舗装の痛みが激しい。
2	継続	朝日ヶ丘	市道青木新生線の道路拡張	枝下用水～小坂若林線（市道青木線）約500M間は狭隘で、南部分は田畑で3～4M落差があり、対向車がある場合、待機を余儀なくされるとともに、歩道も設置されておらず、自転車・歩行者と車との接触事故。また、車同士の事故により、南側田畑に転落など、事故が予想される。この部分は北側が緑地指定されており、公園用途以外の道路拡張は難しいのが現状である。 （状況）①枝下用水の耐震化調査完了。②北側5名の地権者の同意も南側の地権者と比較して交渉が容易と思われる。③都市緑化区域の除外検討を再度要望。④車道、歩道など一体的整備⑤童子山小北側道路の道路拡張による道路使用
3	継続	朝日ヶ丘	バス運行路線の新設	①豊田市駅～小川・細谷町経由 ②主要公共施設（美術館・文化会館）経由の巡回バス路線新設 （1）都心部の交通渋滞緩和及び乗入れ抑制と環境モデル都市としての低炭素社会実現のための路線新設 （2）核家族化による高齢者の福祉対策 （3）免許返納者対策 （4）昼間時の乗り合いタクシー利用による効率化
4	継続	朝日ヶ丘	小川町4丁目北側と豊田ダンボール倉庫東側間の狭隘道路改修	要望箇所は、普通乗用車1台分の余地しかなく、対向車はもちろん自転車との擦れ違いも出来ず、接触事故も起きている。また、緊急車両も通行困難で早急な対応が必要。
5	継続	朝日ヶ丘	新生公園の早期実現・樹木公園の整備	震災時の第1次避難地として広域避難機能とともにスポーツ施設としての住区基幹公園として早期計画の実現が望まれる。この公園は計画構想から十数年が過ぎ、その後進展もなく土地所有者も市街化区域のため、固定資産税補填による土地利用もあり、民間利用などにより、虫食い状況である。そのため、公園計画自体に支障が生じる可能性が大である。あわせて樹木公園の考え方について枝下用水の耐震調査完了により早期検討。
6	新規	朝日ヶ丘	通称金谷下道路の道路狭隘の解消	市福祉センター北側道路から西に向うと、豊田加茂建設事務所を越えると道路が狭く、且つS字形の道路形状である。この道路はR248からの樹木地区への通過道路などで車両も近年増加の傾向。そのため安全対策の観点から拡幅の要望。
7	新規	豊南	安永川改修事業に伴う公園整備等	安永川改修事業は、国県市事業であり、市街地の排水を一手に受ける河川事業である。この事業が完成すれば、地域の環境は大きく変わり、交通渋滞や違法駐車などが予想される。こうしたことを解消するため、明治用水と新安永川の区切られた区域を公園等に整備することによって、より安全安心な環境が整う。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成31年度当初予算への要望

8	継続	豊南	交番設置	豊南地区は、トヨタ自動車本社で地域が分断されており、特に地域性に留意され、地域住民の安全安心のため、交番設置を強く望む。
9	継続	逢妻	市道：本地柿本線の拡幅延長／柿本町	当該市道は、トヨタ元町工場の巨大駐車場の出入口があり、朝夕は慢性的な渋滞を起こしている。さらに大型小売店の開店、西BPの整備による転回禁止により通行量が増大している。平成26年度、柿本町3交差点から西に約100mの区間は拡幅済み。残り柿本3交差点まで西側約200mの早期拡幅を要望する。
10	新規	逢妻	雨水排水対策／柿本町	柿本町6丁目界隈は、雨水の排水能力が低く、大雨による冠水がある。排水路の対策を要望する。
11	継続	逢妻	市道：深田山墓地線の接続整備	当該市道の起点は転回空地となっているため袋小路となっている。現況この市道を通行するのは墓地参拝者が主であるが、市道全体が近隣住民の駐車場化しており、通行に支障を来している。 平成30年度、県営老朽ため池等整備事業「本地新池」（農地整備課）が事業化される見込みであり、堤防の本地新池線も再整備されるので、これを機に深田山墓地線と接続するさせることを要望する。
12	継続	逢妻	市道豊田西部線のみよし市との早期開通	みよし市三好ヶ丘より豊田市内への進入道路である市道福谷一色線は、交通量も多く幅員も狭く、小中高校生の通学路として、大変危険である。よって、市道豊田西部線：朝日町～大池町間のうち久岡町～三好ヶ丘間の早期開通が求められる。
13	継続	逢妻	県道宮上知立線通学路歩道整備	宮上町2丁目交差点から本新町1丁目までの歩道は、園児、小中高校生まで多くの子供が通学している。しかし、溝の蓋など歩道の老朽化により、絶えず転倒の危険がある。部分的でも早急の改修が求められる。
14	継続	逢妻	宮口町1丁目内市道における安全整備	宮口町1丁目内市道は、小中高の通学路で、400～500人/日以上生徒が通過している。しかし、横断歩道・車道幅ラインなどの明示が消えており、みよし市・名古屋市方面からの膨大な通勤車両に対応した整備が急務である。
15	新規	逢妻	宮町児童遊園整備	宮町児童遊園は、開所45年以上を向かえ、樹木の老木化、遊具の老朽化もあり、総合的な整備が急務である。
16	継続	逢妻	東新町3丁目の排水路整備	大雨の度に、雨水が歩道に溢れ、通学の児童が危険であり、また、付近の個人宅にも雨水が進入する状態である。緊急に対応が必要である。
17	継続	梅坪台	西山地区 交番設置	豊田刈谷線の整備も終了し、豊田南北バイパスや上豊田駅周辺のまちづくりの事業が進む中、さらなる人口増加が見込まれる地域であり、近隣に交番は無く、地域の治安維持のためにも交番設置を要望する。朝日小学校校門入口に豊田刈谷線の余剰地があり、ここに設置を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成31年度当初予算への要望

18	継続	浄水	浄水地区 交番設置	浄水地区の区画整理事業が進み、人口が急増しており、さらに近隣地区の上豊田駅周辺のまちづくり事業も、いよいよ準備段階へと進むなか、近隣に交番は無く、地域の治安維持のためにも交番設置を要望する。
19	継続	浄水	都市計画道路浄水駅南通り線延伸整備	浄水地区の区画整理事業が進み、人口が急増しており、さらに浄水中学校・交流館の開設により通行量が増加する中、浄水駅南通り線及び東通り線の延伸整備を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成31年度当初予算への要望

【高橋地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	高橋	都市計画道路・御立→寺部線の道路拡張（豊田北高校付近）	現在、寺部区画整理事業に伴い、豊田則定線は25mの道路幅となる。高橋が開通する事で寺部～御立線の一部の道路が拡張されるが、一部の道路（豊田北高等学校）近郊から豊田スタジアム東の交差点までが1車線となり、その先の御立までは4車線となる為、豊田スタジアムイベント時交通渋滞・事故防止・ラグビーWCP等に向けて道路拡張を要望し、中央公園構想と連携して道路整備を要望
2	継続	高橋	県道則定線と市道高橋1号線への信号交差点設置の確定	寺部区画整理事業に伴い県道則定線が今後4車線になるが、中央分離帯が設置される事で高橋自治区の住民が分断されてしまう為に、市道高橋1号線と県道則定線へ信号交差点の設置を要望する。H14年から始まった住民説明会からも強く要望され、現在の市道高橋1号線はその為に拡張をした経緯も有る。一昨年には、豊田警察署、愛知県、公安へ直接陳情を実施。現在は暫定的な交差点となっているが、確定を要望。自民クラブ地域要望としては昨年に引き続き要望。
3	継続	高橋	県道則定線・高橋1号線から高橋2丁目交差点～内・外環状線までの4車線化	寺部区画整理事業に伴い、現在県道則定線の4車線化の事業が進んでいる。4車線化の予算は高橋1号線までとなっており、その先高橋2丁目交差点までの約210mの4車線化の見通しがついていない為に早期の4車線化を要望。既に、都市計画決定がされている為に内・外環状線までの4車線化の延長も要望する。
4	継続	高橋	県道487号線・中金～古瀬間線の拡充（県道松平志賀中金線拡幅）	矢並線～山中町間の県道487号線の一部道路舗装整備は、平成28年度より進んでいるが未実施の道路整備補修を要望。矢並線～山中町間の通学路確保と車両交通事故防止の為、道路拡幅・拡充を計画的な方向性を作成して頂き要望する。
5	継続	高橋	市道岩滝～百々線の延伸	平井小学校～県道細川線（平井子ども園）までの延伸。これまで地元同意が進めば必要性を検討と回答を頂いてきた。昨年には地元自治区を主導に検討委員会を設置し、地主の同意を得ることができた為、早期事業化に向けて要望する。
6	継続	美里	高橋細谷線 竜宮橋の整備	野見小学校西交差点から長興寺9丁目交差点の4車線化工事の早期完成を要望する。
7	継続	美里	県道細川豊田線の拡幅・改修	長年要望を出しているが、道路整備が進んでいない状態で歩道がない区間もあり、生活道路、通学道路としても危険な状態。歩道整備を含めた拡幅・改修の整備を要望する。
8	新規	美里	市道御立野見1号線の拡幅・歩道整備	高橋細谷線の4車線化整備に伴ない交通量が増加傾向にある中で、豊田東高校に来る生徒が多く通学に使用している、市道御立野見1号線の拡幅・歩道整備の早期完成を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成31年度当初予算への要望

9	新規	美里	榎尾川の浚渫	泉町から矢作川に抜ける榎尾川に、木が生えたり土砂が溜まっているので、浚渫を要望する。
10	新規	美里	上野大見線 東部給食センター前の歩道整備	東部給食センター前の歩道が途中で切れているために、危険な状態になっている。歩道整備を行い安全に通行出来るように要望する。
11	継続	益富	国道301号線整備（益富拡幅）	主要道路である301号線の4車線化の早期事業化決定を要望する。（泉町2丁目交差点～松平橋まで）
12	継続	益富	益富交流館の駐車場整備	駐車場が、現在56台のうち自主活動グループが増加し、交流館利用者数も増加している。利用者が集中する午前中は、周辺の路上に駐車している状態。数年前から駐車場不足対策を市に要望していたが、一向に解決されない状態である。増加整備を要望する。
13	新規	益富	古瀬間墓地公園線のT字路の交差点改良と信号機の新設	古瀬間町に新しく益富包括支援センターが新設される。今後は地区の中心を担う施設のため、多くの車両が出入りするため、交通量が増加すると考えられる。交差点改良を含め、信号機の新設を要望する。
14	新規	益富	古瀬間二本木線の街路灯整備	古瀬間二本木線の古瀬間町入口から、古瀬間聖苑に行く道路では、通学路に使用する生徒や多くの車が通行しているが夜道では、暗いため事故がおこさない為に街路灯の設置を要望する。
15	新規	益富	上野大見線及び古瀬間二本木線のガードパイプの新設	志賀ニュータウンと古瀬間グリーンパークから古瀬間小学校に通う歩道にガードパイプがなく、通勤での多くの車が通行しているため子ども達に危険が生じているので、ガードパイプの新設を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成31年度当初予算への要望

【上郷地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	上郷	愛環北野柵塚駅周辺整備	①駅ロータリーの設置 ②駐車場整備 ③駅周辺の道路整備
2	継続	上郷	市道広美柵塚線の整備／柵塚東町	①拡幅整備及び、市道のT字交差点の改良をすること。 ②市道広美柵塚線と市道東柵塚郷東線を結ぶこと。 ③市道東柵塚郷東線を柳川瀬公園内道路と結ぶこと。
3	継続	上郷	御手洗川の整備／畝部西町	県道から畝部こども園西側の御手洗川を暗渠化し緑道として活用することにより、園児の安全性も図られるため早期整備を要望する。
4	新規	上郷	柳川瀬公園体育館改修	①体育館の改修 ②駐車場の整備 ③全体施設の再見直し
5	継続	上郷	広美町の三連水車の早期修繕	上郷地区のシンボルである「三連水車」は、こどもたちそして地域の憩い場として、利用されている。故障から、2,3年経過し、本来の姿を待ち望んでいる。修繕を早急に要望する。
6	継続	上郷	柵塚西町自治区 公園の建設／柵塚西町	1100世帯、3200人の自治区に遊具のある公園が一箇所しかない。子どもたちの遊べる場所や地域の人たちの憩いの場所と大災害時の避難場所となる公園の建設を要望する。
7	継続	上郷	家下川の堤防の散策と上郷藪間公園との整備	家下川の藪間公園沿いで地元有志により蛍が最近飛び交う。子供たちが水に触れるように整備を要望する。
8	継続	上郷	愛知環状鉄道の「三河上郷駅」のロータリー内の駐車場の整備と駅構内のエレベーター設置	「三河上郷駅」の駅前の駐車場が自由に無料で使用できるため、すぐ満車になり、困っている。有料または、駐車場を降車場として整備を要望する。
9	継続	上郷	豊田市南部工業団地早期実現（福受地区）	地元アンケート調査も終わり、地元、地権者の熱意が年々高まっている。進出希望企業と調整し、早期に地権者と交渉を切に希望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成31年度当初予算への要望

10	継続	末野原	豊田市挙母南部地区に体育館の建設（末野原地区他）	企業収益の改善により、財政状況も好転の兆しを見せており、リーマンショックで凍結された実践計画に基づいて、豊田市挙母南部地区に地域型スポーツ施設の整備として地域体育館の建設を要望します。
11	継続	末野原	三河豊田駅前広場の改修	現在、愛知環状鉄道駅の三河豊田駅の駅前広場には噴水が設置されているが、年間を通して水は流されてなく、また多くの樹木があり、駅前広場としての機能を阻害している。また、地元住民による「三河豊田駅前広場を考える会」も設立され、交通結節点機能を高める駅前広場に全面改修を要望します。
12	継続	末野原	県道本地鴛鴨線大林町12丁目交差点の建物撤去	県道本地鴛鴨線大林町12丁目交差点に屋台の店舗が4軒あり、営業を行っている形跡がなく、建物も老朽化し、防犯上も問題があり、愛知県に対し早期撤去を市からも強く要望していただきたい。
13	継続	末野原	御幸本町・大林自治区区民会館の地代	御幸本自治区のふれあいホールの底地は、豊田市から賃借しており、地代の積算については75%減免を受けているが、そもそも土地の評価価格が高く、減免されても高額の地代をしはらっている。上限額を設定してほしい。また、大林区民会館は、民間借地であり減免されることはない。助成制度の新設をお願いしたい。
14	継続	末野原	家下川の川幅拡張による、集中豪雨時の浸水防止対策	家下川と明治用水の交差する部分は川幅が狭く、集中豪雨時には、排水できず上流の住宅地浸水が予想されるため、拡張工事を依頼。
15	新規	末野原	永覚新町 地縁法人化に伴う登録免許税等の減免	自治区の地縁法人化に伴い、土地・建物を登記する際に発生する登録免許税等の税負担が、都市部にある永覚新町自治区の場合400万円を超える額となり、地縁法人化することで自治区経営を圧迫することは、本末転倒である。自治区地縁法人化を施策として推進するなら、高額税負担等の対策をすべきである。
16	継続	末野原	明治用水暗渠化と上部利用及び周辺整備（鴛鴨町他）	安城台地を潤すべく明治に開削された明治用水の上部利用については、広美町の三連水車下流で公園やウォーキング道の整備が進められてきたが、末野原地域の渡刈・鴛鴨・永覚の各自治区内は整備されていない。従って、国・県に働きかけて国営矢作川総合第2期地区の早期着手及び、地域要望を取り入れた上部利用及び周辺整備を要望する。
17	継続	末野原	永覚町の愛環永覚駅周辺整備及び周辺道路・通学路の一带整備	永覚駅の駅ロータリー設置・駐車場整備・駅周辺道路整備（駅南側道路は狭くて危険）による利便性向上及び、平子地区の児童の通学路・生活道路において平子橋北側の明治用水沿いの道路拡幅による安全対策。道路新設も考慮した周辺一帯整備を要望します。
18	継続	末野原	幸（隣松寺含む）町地内の排水路暗渠化による通学路・遊歩道整備	隣松寺から幸町に通じる、市道側溝及び排水路に蓋をして、通学路・遊歩道の設置希望。
19	継続	末野原	宝蔵川周辺の法面・護岸拡幅等工事による住宅地・田畑等の浸水防止他	渡刈町地内の宝蔵川周辺の急斜面法面の草刈り対策及び集中豪雨時の住宅地・田畑等の浸水防止の護岸拡幅等工事の実施。
20	継続	末野原	家下川の川幅拡張による、集中豪雨時の浸水防止対策	家下川と明治用水の交差する部分は川幅が狭く、集中豪雨時には、排水できず上流の住宅地浸水が予想されるため、拡張工事を依頼。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成31年度当初予算への要望

【高岡地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	高岡	都市計画道路の事業化 / 若林西町 若林東町	地区内にある都市計画道路の早期事業化を要望する。 この地域には土地区画整理事業の計画が予定されているが、この辺りは以前より駅を中心に商業施設や学校等があるため人や車が多く集まってくる。 土地区画整理事業が始まるにしても、ここを利用するための流れを早期に整理する必要があると考える。 また、南部地区として宅地等の要望が多いこの地区(特に鉄道駅があるので他地区より更に要望が多い)において、安定した税収を確保するためにも生活の基盤となる道路の整備が重要となる。
2	継続	高岡	若林東町上り戸(六ツ辻)交差点の改良 / 若林東町	当初この交差点は、「若林駅周辺土地区画整理事業」において事業計画地区内であったが、諸事情により事業計画地区外となった。 しかし、土地区画整理事業・三河線複線高架事業やその他周辺道路整備が進み交差点周辺の渋滞が緩和され交通の流れが良くなっても、元々この交差点は変則であるためさらに危険な交差点となることが予想されるので、周辺で進められている事業(区画整理・鉄道高架など)に合わせて交差点改良を要望する。
3	継続	高岡	若林神社前交差点改良 及び 若林花園線の拡張 / 若林西町	若林神社前交差点は、北方面からの車の多くが右折し若園地区方面に向かったり、直進先に変形交差点(六辻交差点)があったりするため渋滞が発生する。 JAの店舗もあり、近隣地区より車で人が集まるので土地区画整理事業の事業化待ちでは遅く、事故等が発生する前に対応して頂きたい。 また、交差点には歩道橋もあるが子どもたちの通学路としては使われておらず、車等の視界の妨げとなっているため、撤去する必要がある、早期に整備を要望する。
4	継続	高岡	県道名古屋岡崎線・県道豊田一色線 渋滞対策 / 若林東町	この地域で交差する主要地方道路名古屋岡崎線、県道豊田一色線付近の道路渋滞が常に激しい。その結果、生活道路への車両流入が発生し近隣生活にも影響があるので対策を要望する。
5	新規	高岡	里道の市道認定と道路拡張 / 若林東町	この道路沿いには、竹元公園が新設されると共に、病院・住宅地の新設が計画されており、現在の道路幅では課題となることが予想されるので、市道認定と道路の拡張を要望する。
6	新規	竜神	都市計画道路土橋竜神線の早期全線事業化	現在土橋区画整理事業が順調に進んでいるが、区画整理事業の中で、土橋竜神線が国道419号から竜神地区に入るところで行き止まりになっている。竜神町内は道路幅も狭く、国道419号線から県道豊田安城線に抜ける車両が竜神町内の生活道路に進入しないためにも、都市計画道路の早期の着工と全線の開通を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成31年度当初予算への要望

7	継続	竜神	竹村新池公園の拡張整備	竹村新池公園は近隣公園として平成13年3月に供用開始され、近隣住民の憩いの場として多くの区民が利用している。公園南側と東側の農地を借用して拡張し、区民がより幅広い活動ができるスペースを確保できるように拡張整備を要望する。
8	継続	竜神	トヨタ上郷工場南側の市道の拡幅（市道竹下和会線）	豊田工業高校の生徒が通学路として使用しているトヨタ自動車(株)上郷工場南側の市道（市道竹下和会線）は、道路幅が狭いにもかかわらず、近年通過交通が増加の傾向にあり、非常に危険な状態にある。道路幅を拡幅し、通学で使用する自転車が安心して利用できるスペースの確保を要望する。
9	継続	竜神	名鉄三河線竹村駅の利便性の向上と踏切の渋滞対策	現在竹村駅は、駅前のスペースも少なく、特に雨天時には、送迎の車の出入りで、その混雑はたいへん危険な状態となっている。名鉄三河線の複線化にあわせ、乗降客の利便性の向上と安全対策、そして踏切の渋滞対策を要望する。
10	新規	竜神	地域文化広場のリニューアルと運動施設の拡充	昭和55年に県の施設として整備された地域文化広場は、昭和61年に市へ移管され、豊田市南部地域のスポーツと文化活動の総合複合施設として多くの市民の活動の拠点となっている。しかし開設後38年が経過し、設備の老朽化とともに、施設として使いづらい部分も出てきた。より多くの市民に有効に活用してもらうために、施設全体のリニューアルと運動施設の拡充を要望する。
11	継続	竜神	市道：山の手20号線の側溝整備／寿町	寿町5丁目地内の当該市道の一部は、法面があり側溝が整備されていないため、雨水が民地に流れ込んでいる。側溝整備を要望する。
12	新規	竜神	ごみステーション用地の再整備／寿町	寿町5丁目の高圧線鉄塔の隣地に「ごみステーション用地」があるが、アスファルト舗装は穴ぼこだらけで雑草が繁茂し、境界フェンスも相当傷んでおり、抜本的な再整備を要望する。
13	継続	竜神	都市計画道路土橋竜神線の検討／寿町	「都市計画道路土橋竜神線」は土橋区画整理事業によって、区画整理区域内までは整備される予定であるが、その先線は事業化されていない。また旧来の計画のままの線形で良いのかということも地域全体を見ながら検討すべきである。そこで、関係地域の検討委員会の設置と、事業化に向けての調査を要望する。
14	継続	若園	三河線連続立体交差事業	中根町～若林東町の複線高架化の推進を引き続き図られたい。
15	継続	若園	（都）西岡吉原線 道路新設事業（主要地方道豊田一色線～名鉄三河線線）	（都）西岡吉原線の道路事業が進行中である。平成28年度で、R155BP～名鉄三河線までが終了し、続いて吉原町地内の主要地方道豊田一色線～逢妻男川間の道路新設事業に着手しつつあり、中根町については、まちづくりを進めて方向を出していくため、面的な整備手法での取り組み方を示して、地元協議に入っていただく。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成31年度当初予算への要望

16	新規	若園	(都)西岡吉原線 道路新設事業 (R419~R155)	用地交渉が難航しているが、引き続きの交渉を図ってほしい。
17	継続	若園	市道花園役場線 道路改良事業	替地等の用地取得を短期間に完了し、引き続き事業促進されたい。
18	継続	若園	市道吉原8号線 道路改良工事	前年度に引き続き整備をして頂きたい。
19	継続	若園	中根公園の整備	前年度に引き続き整備をして頂きたい。
20	継続	若園	若園中学校改築事業	若園中学校校舎の老朽化に伴い、早急な改築を要望する。
21	継続	若園	若園交流館改築事業	若園交流館は若園地区の文化交流の拠点施設であり、地域住民の交流の場でもあるが、老朽化も進んでおり、早期の改築を要望する。H26では、先進地の視察をしており、平成27年度では、先進地である浄水中学校を視察しており、合築で進めることは理解されているので早急な取り組みを期待する。そして、具体的な議論に入って頂きたい。あまりにも時間が掛りすぎている。
22	継続	前林	調整区域における小規模生鮮食品店舗の設置許可	市街化調整区域が大半の地域であるが、居住者が多い地域にもかかわらず、生鮮食品用店舗がないため、周辺都市に行かねばならず、車を利用できない高齢者等にとって大変不便を感じている。売り場面積1,000㎡程度の店舗が可能な土地利用計画を検討していただきたい。
23	継続	前林	都市計画道路の早期整備	都市計画道路豊田刈谷線、西岡吉原線に取り組んでいる。刈谷ハイウェイオアシスのスマートインター化が平成33年度中に完成し、また、大規模な産業用地開発が開始されつつある。地域の安全を守るために、両都市計画道路の整備を少しでも早く進めてほしい。また、同様の理由により豊田刈谷線については、西岡から大島間(県整備分)について早く事業化されるよう県に要請してほしい。
24	継続	前林	ふれあいバスの利便性向上	豊田市の中心部に向かう公共交通機関が貧弱であり、都心部との結びつきが薄い。公共交通バスのルート、ダイヤの見直しとともに、乗り換えなしで都心に向かうバス路線方を検討してほしい。当地区には鉄道がない。鉄道の代替となるバス路線を知立ー豊田市駅間に走らせ、都心に地域の人が行きやすい環境を整備してほしい。
25	継続	前林	耐震対策の推進	当地区は逢妻女川沿いの地域であり、地震に弱い地盤の地域である。家屋の倒壊防止対策としての耐震診断及び防災に関する啓発の推進を重点的に実施していただきたい。
26	新規	前林	通学路の確保・拡幅	企業の活性化に伴い、通学路の交通量が増加しつつある。通学路の歩道がないまたは狭小で歩行者と自転車の混雑が発生している。通学児童の安全確保のために歩道の拡幅を進めていただきたい。(油田上町線、川向下定井線、鎌倉線、県道豊明岡崎線)

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成31年度当初予算への要望

【猿投地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	保見	豊田知立線の延伸	豊田～知立線は、みよし市で終わっており、田柵町までの早期延伸を図ってください。（田柵町地内の渋滞対策解消）
2	継続	保見	伊保貝津線の延伸	伊保貝津線の延伸～東保見町の県道までの早期実現
3	継続	保見	保見マレット場の18H→27H化	マレット場の27H化に向け、現在マレット場の隣地早期取得。 現在、大畑小の通学路が危険な為、取得した土地の一部を通学路にする為。
4	継続	井郷	布袋池（猿投運動公園内）と水無瀬川の水質保全確保と水辺・親水公園整備	昨年に引き続き 水と緑のまちづくりのために布袋池（猿投運動公園内）と水無瀬川の水質保全確保と近自然化工法などによる水辺・親水公園化整備とそのための水源確保を要望する。
5	継続	井郷	豊田市運動公園までの名鉄延伸とパークアンドライド用駐車場の用地確保と整備	豊田市運動公園までの名鉄延伸とパークアンドライド用駐車場の用地確保と整備 猿投駅は北の玄関鉄道駅として位置づけられているが、現在は学童始め鉄道で運動公園を訪れる人たちが、道なき道を迷いながら利用しているという状況である。その改善策と運動公園利用者を増やすためにも、名鉄の運動公園までの延伸と、パークアンドライド用駐車場の整備（駐車場用地の早期取得） 又豊田市に移管された線路敷地の利活用もあわせ要望する。
6	継続	井郷	都市計画道路等幹線道路の事業化・早期着工・前倒し早期整備・早期開通 ①（都）猿投学校通り線 ②（都）猿投停車場線 ③（都）名古屋豊田線（県道） ④（都）御船花本線（県道） ⑤（都）豊田多治見線（国道） ⑥（仮）四郷貝津線 ⑦ 市道大釜鳥坂根線	豊田市北部の都市計画道路等幹線道路の事業化・早期着工・前倒し早期整備・早期開通は合併地区と旧市との交通網の整備確立のためや、北部における安全安心の生活環境整備、各公共施設・準公共施設・工業施設誘致施策等にも重要である。これらを踏まえた政策的な道路整備の推進を要望する。 中でも特に都）猿投学校通り線の早期実現を最優先事項としての取り組みを強く要望します。
7	継続	井郷	北部給食センター移転に伴う跡地利活用について地域要望実現にむけた調整	北部給食センター移転に伴う跡地利活用について地域との要望意見を主体とした利活用の推進の調整の徹底

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成31年度当初予算への要望

8	継続	石野	通学路の歩道の設置(自転車共用)	通学路の歩道の設置(自転車共用) 国道153号の勘八町勘八交差点から力石インター東交差点までの歩道整備、秋には香嵐渓方面への渋滞箇所で大変危険である。早急な整備を要望する。 (国交省から事業化連絡あり、継続して早期実施を要望)
9	継続	石野	石野中学校への進入道路の確保	石野中学校は、緊急時に市民の避難所として指定されているが、国道153号からの正門進入路に限られているため、災害により進入路が絶たれた場合にも避難所の安全確保のため整備を要望する。
10	新規	石野	おいでんバス「さなげ・足助線」経由地変更	おいでんバス「さなげ・足助線」は旧三河線広瀬駅から石野運動公園を經由して力石へという路線となっている。現路線から三河広瀬駅から上切広斎寺・小峰口・下室を經由する路線の変更を要望する。 現路線は人家も少なく、利用者の少ない路線となっている。 要望路線は石野地区3666名のうち、1428名、43%が生活し、利用者増が一番望めるコースであり、石野地区が直面する過疎化対策・人口増対策としても大変有効であり、路線変更を強く要望いたします。
11	継続	猿投	乙部ヶ丘団地～猿投中学校への通学路整備	猿投中の生徒数は平成33年度にピークの500名超え、その7割が乙部ヶ丘団地からの通学生徒であり、現在、市において平成31年度末の完成を目指し市道整備を進めていただき感謝申し上げます。しかしながら、市道整備が完成しても通過交通が多い県道部の2箇所を横断することとなるため、新たな危険箇所が生じることになりますので、何らかの対策検討をお願いします。
12	継続	猿投	(仮)水辺ふれあいプラザ事業	本事業は、矢作川水系に生息する魚類が年々減少する中、これらを復元させ、子供たちに魚類の生息状況など生態の学習施設として計画されました。用地取得は平成19・20年度に買収され、昨年度、籠川と一体的整備構想が役員に示されたため、早期着手に向け検討員会を設立しました。検討委員会では、施設利用及び管理について検討しており、早期に具体的計画案が示され事業着手されることを要望します。
13	継続	猿投	加納～西中山の道路拡幅(市道落合向山線)	本路線は猿投地区と旧藤岡西中山メグリアなど商業施設と連絡する地域の生活幹線道路であり、沿線には平成28年10月に高齢者福祉施設が開設されています。平成29年度から用地買収に着手していただきお礼申し上げますと共に早期の事業完了を要望します。
14	継続	猿投	猿投山登山者の増加に伴う駐車場の確保	猿投山への登山者は年々増加し、現在、平日で100名程度、休日には約300名の登山客がいるが、現在の駐車場では収容しきれず、その多くが路上駐車をしている。また、登山口である猿投神社周辺では旧龍性院が国の文化財指定されたため今後の整備に際しては駐車場問題を最優先し活用計画をまとめること。
15	継続	猿投	国道419号の4車線化事業	本路線は、豊田市中心部と瑞浪市を結ぶ幹線道路であり、近年朝夕には与茂田」交差点～亀首児童交差点が渋滞している。現在、四郷区画整理事業に合わせ順次整備するとのことを聞いているが、次期整備区間として要望書に明記していただきたい。
16	新規	猿投台	青木小学校交差点改良	同交差点は平成30年1月に死亡事故が発生しており、本来なら抜本的な道路改良が必要である。改良には時間、費用がかかる為、当面は交差点改良だけでも(信号可動)一日も早い対応をお願いする。
17	継続	猿投台	勘八公園・前田公園整備推進	勘八公園は昭和57年に都市公園と位置付けられているが、事業がストップしている。また、前田公園は市民広場条例の位置づけであり、都市公園と位置づけ、公園としての機能を高めてほしい。これにより民芸館、民芸の森との連携強化により集客が期待できる。
18	継続	猿投台	平戸橋西詰交差点改良	交通量の増加、3回での変則信号のため、恒常的な渋滞エリアであり、地域住民ならびに利用者に不便をかけている。用地買収をも視野に入れた交差点改良を望む。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成31年度当初予算への要望

19	継続	猿投台	名鉄越戸駅の周辺整備及びバリアフリー対策推進	北バイパス事業に合わせて、計画的に整備をするよう要望する。同地区は都市計画決定をされており迅速な、対応を望む。合わせて、高齢社会に対応するため越戸駅にエレベーターの設置を要望する。
20	継続	猿投台	枝下町地内採掘現場修復と産業廃棄物不法投棄監視	枝下町地内の過度な砂利採取は、地域住民に不安感を増大させている。併せて、産業廃棄物の不法投棄も危惧される。管理監督は愛知県ではあるが、豊田市の立場からも愛知県に対して、一日も早い対応をするよう要望する。また、産業廃棄物の不法投棄にも監視の強化を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成31年度当初予算への要望

【藤岡地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	藤岡	国道419号の改良整備（藤岡飯野交差点他）	藤岡飯野交差点をはじめとする国道419号は、周辺の住宅地や工場などへの交通集中により、朝夕に各所で慢性的な交通渋滞が発生し、市民生活に支障をきたしている。このため、事業着手された藤岡飯野交差点改良及び迫八反田交差点改良は交通の要衝であり、早期完成に向け集中的な整備を要望する。また、当該国道は小・中・高校生の通学路としての利用が多く、歩道の新設や拡幅などの早期整備を要望する。
2	継続	藤岡	市道藤岡飯野広瀬線改良整備	市道藤岡飯野広瀬線改良整備は歩道もなく、通学児童や高齢者が交通事故の危険にさらされている。また、グリーンクリーンふじの丘建設時の地元住民の約束条件であり、早期の改良整備を要望する。
3	継続	藤岡	新設市道の整備（北一色～迫～深見～西中山）	藤岡飯野交差点の慢性的な渋滞を回避するための新設道路を要望する。
4	継続	藤岡	県道大平折平線の拡幅整備	県道大平折平線の折平地区には歩道がなく、通学児童や高齢者が交通事故の危険にさらされているため、早期の拡幅整備を要望する。
5	継続	藤岡南	国道419号辻貝戸交差点改良	小・中学校生徒の通学安全確保するため、早期の改良を要望する。
6	継続	藤岡南	国道419号バイパスの早期着工	国道419号西中山町地内の渋滞緩和のため、早期着工を要望する。
7	継続	藤岡南	国道419号の通学路整備 深見町常楽交差点（西側）歩道設置	小・中学校の通学路の安全確保のため早期設置を要望する。
8	継続	藤岡南	藤岡南交流館の建替え	・平成23年4月の藤岡南中学校開校に合わせ、既存の公共施設を転用して開館した。このため、必要な諸機能の不足・低下はもとより、築30年が経過することで建物本体の老朽化が目立っている。 ・新成人を祝う会の開催にキャパ不足であるなど、地域交流拠点としての機能不足が著しいため、早期の建替えを要望する。
9	継続	藤岡南	藤岡南地区運動広場建設	藤岡南地区には運動広場がないため、早期建設を要望する。
10	継続	藤岡南	中山小学校体育館建替え	学校の生徒数規模に対し、体育館は手狭であり、全校集まる学校行事など、大変支障をきたしているため、建替えを要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成31年度当初予算への要望

【小原地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	新規	小原	市有財産を活用した住宅、宅地整備／永太郎町、小原町、遊屋町	旧老人憩いの家、旧教職員住宅及び平成29年度に取壊された小原郷土館など、おいでん・さんそんビジョンに掲載された取組に基づいて未利用な市有財産を活用し、移住、定住の促進を図るため、住居、宅地の整備を要望する。
2	継続	小原	四季の回廊整備事業の促進／永太郎町他	四季の回廊ミュージアム構想は、第7次総合計画に位置付けられ順次整備が進められてきた。この構想は、地域資源を活かした観光交流拠点施設の整備事業であり、地区の活性化に欠かせない。烏屋平園地の整備及び川見四季桜の里の拡充整備など、第8次総合計画に掲載されている拠点施設の整備促進を要望する。
3	継続	小原	和紙のふるさと設計／永太郎町	建設から約40年が経過し、施設設備の老朽化が進行している。また、バリアフリー化や展示形態ニーズの多様化に対応できなくなっている。さらに、三河漆文化継承の役割が付加され、そのスペースも必要となった。2020年に国際紙フォーラムの会場となることが決定していることから、海外からの観光客に対し快適な環境を提供する必要があるため、展示館や休憩室の改修を要望する。
4	継続	小原	市道築平川下線の改良／築平・川下町	本路線は、小原、旭、足助地区の地域核を結ぶ重要路線を構成するとともに、近年は地区間の観光拠点を結ぶ観光バス路線として重要性が高まっている。観光シーズンにおける観光バスの通行を考慮し、地域住民の車両と安全に交互通行できる道路改良を要望する。
5	継続	小原	国道419号和紙のふるさと入口の交差点改良／永太郎町	国道419号と市道との取り付けが不整形であることと、観光施設である和紙のふるさとと小・中学校が隣接していることから、観光客の車と児童、生徒及び一般車両が交差することになる。また、通過車両の速度も速く危険な状況であることから、早期に交差点の改良を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成31年度当初予算への要望

【足助地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	足助	足助白山町・越田和町地内、埋立地の開発	足助白山町・越田和町地内埋立地（足助バイパス残土捨て場）の活用については、地質調査まで進んでいるが、具体的な計画にはいたっていない。 地元自治区では、具体的な開発に向けた検討部会を新盛自治区・大蔵自治区でそれぞれ立ち上げ、足助地区全体の要望書を取りまとめ、市に提出した。 豊田市としての開発計画の早期立案を要望する。
2	継続	足助	足助まちづくりプランの市計画としての位置づけと策定と、国際観光都市建設を視野に入れた香嵐溪の再整備	足助の町並み整備は『まちづくり交付金事業』が完了し、一応の計画は終了している。 しかしながら、リーマンショックによる予算の減額などにより、多くの課題が残されたままになっている。 また、足助地区には、全国的な知名度を有する香嵐溪を始め魅力ある観光資源があり、国内外から多くの観光客が訪れ、本市の観光まちづくりに大きく貢献している。 近年、日本を訪れる外国人観光客の増加に伴い、足助地区においても中国人はじめ外国人観光客が増加傾向にある。 国家的ビッグイベント開催を視野に、本市の有力な観光資源を磨き上げる（再整備する）ことにより、本市の世界的認知度、都市ブランドを向上させることが可能となる。 合併時の新市建設計画においては、「香嵐溪施設整備事業」（ライトアップ更新等）、「奥香嵐溪開発整備事業」、「香嵐溪アクセス歩道等整備事業」など、観光資源の整備が掲げられているが、一部を除いて計画化されていない。
3	継続	足助	足助支所新築の早期実現	足助支所の新築については、経済状況の悪化から延期されている状況にあるが、景気浮揚・市税回復が実現された現状から、早急に計画の実行に着手していただきたい。
4	継続	足助	新盛里山耕第2期計画の早期着工と、拠点施設としての『道の駅』建設	新盛里山耕は、『里山くらし体験館一すげの里一』を拠点施設として『里山耕流塾』など都市と農山村の交流事業を展開している。 平成19年に策定された『山村活性化事業「里山耕」基本計画では、第2期拠点施設の建設が計画されているが、リーマンショック等の影響で実現に至っていない。 早期の計画実現を要望する。
5	継続	足助	学校跡地・老人ホーム跡地等の有効活用	旧足助町時代に活用されていた『西部中学校』（国谷町）、『老人ホーム跡地』（近岡町）の活用計画が、様々な要因で進捗していない。 地元自治区に有意義な活用方法の早期実現を要望する。
6	継続	足助	旧いこいの村施設の再整備・再利用化	旧いこいの村愛知は足助町時代に、愛知県が閉鎖して以来、10年以上が経過しようとしている。足助地区では市有地として有益な場所であり、地域活性化のためにも、早期再整備・再利用化の計画策定を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成31年度当初予算への要望

【下山地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	下山	県道作手善夫大沼線の改良整備／大沼町	① 県道作手善夫大沼線は、下山地区の中央を東西に結ぶ主要路線である。未だ狭あいで、カーブが急で危険箇所が多く冬季には事故も多い。安心安全に通行が可能となる早期の改良整備を要望する。 ② 大沼町大畑地内における一部狭あい箇所は、車両のよけ合いが困難であり、危険である。地元住民の通行、又、観光等に訪れる車の通行も多く、事故発生も懸念されるだけに、早期の改良整備を要望する。
2	継続	下山	市道下山二本松名牛東線（名牛集落側）、市道下山越田和ドドメキ線（越田和集落側）及びこの2路線を連結するバイパスの改良整備／大沼町	市道下山二本松名牛東線及び市道下山越田和ドドメキ線は、地域と支所等の下山中心地区を結ぶ重要な路線である。しかし、急なカーブや狭あいで危険箇所が多く住民生活や児童生徒の安全な通学に支障をきたしている。この2路線を結ぶバイパス部分を含めて一体的に整備することにより、飛躍的に利便性が向上し、定住促進にもつながるため、早期の改良整備を要望する。
3	継続	下山	主要地方道足助下山線の改良整備／大沼町	主要地方道足助下山線は、支所間を結ぶ重要路線である。基幹病院である足助病院通院の重要な路線であるにもかかわらず、未だ多くの箇所が狭あいで危険の多い道路である。 本路線は、合併時に県事業として新市建設計画に策定されている道路であり、下山地区と足助地区の双方からの狭あい箇所解消に向けて早急な改良整備を要望する。
4	新規	下山	市道下山ニタ瀬草木線道路舗装及び落石防止/羽布町	市道下山ニタ瀬草木線（延長約8km）は三河湖左岸道路である。下山地区の賑わいづくり推進の核となる三河湖を周遊する観光道路である。 大部分未舗装で降雨により路面の浸食が激しい。且つ、落石が多く交通事故等の危険性をはらんでいることから計画的な整備を要望する。
5	継続	下山	下山ウツキフ子切山線／花沢町・大沼町	県道「坂上花沢線」と県道「足助下山線」を接続する道路である。通学路であるが、狭あいの上に、ロイヤルカントリークラブ往復の通行車両が多く危険度が増していることもあり、早急な道路拡幅整備を要望する。
6	新規	下山	下山地区内河川浚渫等	地区内の多くの河川が葦に覆われたり、土砂が堆積していたりする箇所があり、景観が損なわれているとともに、降雨量が多いときに水位が増し危険な状況に陥ることがあるため、計画的な整備を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成31年度当初予算への要望

【旭地区】

番号	提出状況	中学校区	要 望 事 項	具 体 的 内 容
1	新規	旭	小渡地内地すべりの早期復旧工事と安全対策	小渡地内地すべりにおける、更なる大規模崩落が起こった時の被災回避対策、崩落現場の早急な復旧工事及び通行止め迂回路の安全対策を要望する。
2	新規	旭	上中のしだれ桃渋滞対策としだれ桃維持管理の支援	渋滞が発生する県道土岐足助線は、急こう配であるうえ道幅が狭く、カーブも多く交通事故等の発生も懸念されるため、道路の拡幅も含めた渋滞緩和対策を要望する。 また、上中町住民の高齢化によりしだれ桃の維持管理が困難になっており、現在、観光協会が主体となる維持管理を検討しており、観光協会への支援を要望する。
3	継続	旭	榊野広場埋め立て後の有効活用	矢作ダムの堆砂の搬入・埋立作業が進められており、最終計画平場面積は50,200㎡で、広大な敷地が整備される見込みであるため、早期の埋立完了とその後の有効活用に向けた整備計画の検討を要望する。
4	継続	旭	旭木の駅プロジェクトの継続実施	旭木の駅プロジェクト推進事業は、森林資源の有効活用と地域内経済の循環に寄与するとともに、住民同士の助け合いの精神が息づいた大変効果的な事業でもあるため、今後も継続して実施する事を要望する。
5	継続	旭	旭高原元気村施設の魅力アップ	旭高原元気村は、旭地区の主要観光施設であり、夏期のキャンプや冬期の雪そりゲレンデを中心に利用客は増加傾向にある。更なる魅力アップと新たなリピーターの確保に向け、老朽化施設の改修を含めた宿泊施設の充実を要望する。
6	継続	旭	笹戸会館敷地内の不用公共施設解体撤去後の活用	昨年度、笹戸会館敷地内にある不用施設（しめじ生産施設）の解体撤去工事を完了した。 その跡地利用として、消防団詰所格納庫及び防災倉庫の早期建設を要望する。
7	継続	旭	旧教職員住宅（時瀬町）を活用した定住対策の推進	昨年度、杉本町の旧教職員住宅は、移住希望者へ売却を行った。 さらに、時瀬町の旧教職員住宅などの未利用市有財産を活用し、移住・定住促進を図るための住居・宅地の整備を要望する。
8	継続	旭	主要地方道豊田明智線の整備促進	旭地区内の主要地方道豊田明智線の浅谷町～須渕町間のバイパストンネル事業は、平成20年度から用地買収が始まっている。引き続き県と連携し、事業の進捗状況の見える化を含め早期実現に向けた迅速な事業促進を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成31年度当初予算への要望

【稲武地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	稲武	「重点」道の駅「どんぐりの里いなぶ」を核とした総合的なまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・重点道の駅の整備を進めていく上で、国に対して交付金・補助金の優先的支援を要望する。 ・市は、重点道の駅を核として、道の駅の機能拡張や周辺の整備を進め、併せて稲武地域全体のまちづくりを進めることを要望する。
2	新規	稲武	世界ラリー選手権を活用した地域振興策の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・大会の成功に向け、主催者、地域、関係機関、行政が一体となった緊密な連携協力体制の構築を要望する。 ・時間的制約がある中、レース観戦ポイント等の早期整備を要望する。 ・大会開催を契機として、「ラリー開催の地いなぶ」を合言葉とした中・長期展望に立った観光産業振興策の展開を要望する。
3	継続	稲武	「自然エネルギーゾーン」の位置付けと先進施設整備	<p>※稲武地区は、中部電力の揚水発電所、市管理の大井平公園小水力発電施設、面ノ木風力発電施設、富永町や大野瀬町自治区が導入主体となった小水力発電施設が設置されるなど、民・官による、再生可能エネルギー利活用の先進地区となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲武地区を、再生可能エネルギー利活用先進地区である「自然エネルギーゾーン」として明確に位置付け、民の取り組みを促進するモデル施策の展開を要望する。 ・加えて、再生可能エネルギー学習の場として国内外から多くの来訪者を呼び込むため、地域が包蔵する木材に着目し、木質バイオマス活用施設を設置して、先進施策の見える化の実現を要望する。
4	継続	稲武	雇用と定住をセットした施策の展開	<p>※人口減少に歯止めがかからぬ中、若年人口の減少は深刻で、近い将来、担い手不足による地域力の更なる低下が懸念される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用環境が厳しいため、「定住」と「雇用」をセットとしたI・U・Jターン施策の展開を要望する。 ・特に「雇用」面では、稲武の地域資源やまちの特性に着目した、サテライトオフィス、木質バイオマス（木の駅プロジェクト）活用、6次産業化関連企業誘致を軸とした取り組みの展開を要望する。
5	継続	稲武	面ノ木園地・風力発電所周辺の一体的整備	<p>※面ノ木園地・風力発電所一帯は、天竜奥三河国定公園内にある本市の環境取組のシンボルであるとともに、貴重な自然・環境教育・観光資源でもある。</p> <p>※平成31年11月に開催が予定される「世界ラリー選手権」では、面ノ木園地横道路がタイムトライアルコースとして予定されており、当地はイベントエリアや映像観戦等の最適地となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲武が誇る地域資源を活用して、地域経済の活性化に結び付くような観光誘客や子どもたちの環境教育の場とするため、管理道路や風車及び周辺の環境整備を要望する。